



プレスリリース

報道関係者各位

2017年12月14日
Veeva Japan株式会社

Veeva、2018 年度第 3 四半期の業績を発表

～ 総売上高は 1 億 7,610 万ドル、前年比 23%の増収
サブスクリプション契約による売上高は 1 億 4,190 万ドル、前年比 25%の増収 ～

ライフサイエンス業界に特化したクラウドソリューションにおけるグローバルリーディングプロバイダー、Veeva Systems【NYSE:VEEV】(本社：カリフォルニア州プレザントン、日本法人本社：東京都渋谷区、日本法人代表取締役：岡村 崇、以下 Veeva)は、2017 年 10 月 31 日を末日とする 2018 年度第 3 四半期の業績を発表しました。(本リリースは、Veeva 米国本社が発表した報道資料の抄訳です。詳細は[原文](#)をご覧ください。)

Veeva の Peter Gassner 最高経営責任者（CEO）は次のように述べています。「当社は今期も予想を上回る業績を達成しました。すべての製品領域と地域で申し分のない実績を残し、カスタマーサクセスに力添えできるよう最善を尽くしました。また、お客様が医薬品を管理する際に効率化や効果の向上、そしてより適切なコンプライアンスの実現に役立つ Veeva Vault Safety という新製品も発表しました。」

2018 年度第 3 四半期業績：

- **売上高：**第 3 四半期の総売上高は 1 億 7,610 万ドルで、前年同期の 1 億 4,280 万ドルから 23%の増収。第 3 四半期のサブスクリプション契約による売上高は 1 億 4,190 万ドルで、前年同期の 1 億 1,360 万ドルから 25%の増収となりました。

- **営業利益と Non-GAAP の営業利益⁽¹⁾**：第 3 四半期の営業利益は 4,170 万ドルで、前年同期の 3,380 万ドルから 23%の増益。第 3 四半期の Non-GAAP の営業利益は 5,760 万ドルで、前年同期の 4,750 万ドルから 21%の増益となりました。
- **純利益と Non-GAAP の純利益⁽¹⁾**：第 3 四半期の純利益は 3,440 万ドルで、前年同期の 2,160 万ドルから 59%の増益。第 3 四半期の Non-GAAP の純利益は 3,830 万ドルで、前年同期の 3,170 万ドルから 21%の増益となりました。
- **1 株当たり純利益と Non-GAAP の 1 株当たり純利益⁽¹⁾**：第 3 四半期の完全希薄化後 1 株当たり純利益は、前年同期の 0.15 ドルから 0.22 ドルとなりました。これに対し、Non-GAAP の完全希薄化後 1 株当たり純利益は、前年同期の 0.22 ドルから 0.25 ドルとなりました。

Veeva の Tim Cabral 最高財務責任者（CFO）は、次のように述べています。「第 3 四半期は Vault が特に堅調で、総売上高の 40%を占めています。当社独自の強力なプラットフォームである Vault によって、当社は現在既に相当な案件を獲得していますが、将来に向けて大規模な新規市場にも対応できるようになるでしょう。」

最近のハイライト：

- **Vault 顧客数の増加**：第 3 四半期は、Vault の顧客数が記録的な伸びを見せたほか、Vault アプリケーション領域全般での増加が追い風となり、複数の Vault アプリケーションを利用する顧客数が前年同期と比べて約 50%増えました。
- **Veeva European Commercial Summit で発表された新製品**：当社は Veeva European Commercial Summit で、最新の Veeva Commercial Cloud 製品である Veeva CRM Engage Webinar をリリースしました。この新製品は、ライフサイエンス企業が、典型的なコンプライアンスのリスクを負うことなく、オンラインイベントを管理できるようにすることに特化した初のアプリケーションです。また、Veeva Vault PromoMats Brand Portal もリリースしました。これは、ブランドマネージャーが行うポータル作成や、Veeva Vault PromoMats 内でのコンテンツ整理やコンテンツ掲示を容易化する、新しいデジタル資材管理機能です。
- **主要新規市場へ参入**：当社は、サービスが不十分で改革が求められている、もうひとつの巨大領域である医薬品安全性・市販後医薬品安全性監視市場に参入する計画を発表しました。Vault Clinical、Vault Quality、Vault RIM に Vault Safety が追加さ

れることで、Vault Development Cloud はライフサイエンス企業の医薬品開発を合理化するのに役立つ、統合型クラウドアプリケーションの総合スイート製品となります。Vault Safety は 2019 年に提供開始予定です。

財務見通し：

2018 年度第 4 四半期（2017 年 11 月～2018 年 1 月）の Veeva の財務見通しは下記のとおりです。

- 総売上高は 1 億 7,900 万ドル～1 億 8,000 万ドル
- Non-GAAP の営業利益は 5,000 万ドル～5,100 万ドル⁽²⁾
- Non-GAAP の完全希薄化後 1 株当たり純利益は 0.21～0.22 ドル⁽²⁾

上記第 4 四半期予想に基づく 2018 年度通年（2017 年 2 月～2018 年 1 月）の Veeva の財務見通しは下記のとおりです。

- 総売上高は 6 億 7,970 万ドル～6 億 8,070 万ドル
- Non-GAAP の営業利益は 2 億 1,050 万ドル～2 億 1,150 万ドル⁽²⁾
- Non-GAAP の完全希薄化後 1 株当たり純利益は 0.91 ドル⁽²⁾

⁽¹⁾ 本プレスリリースでは non-GAAP の財務指標を使用しており、これらの指標は様々な GAAP 項目の影響について調整されています。

⁽²⁾ Veeva は現時点で 2017 年 10 月 31 日に終了する第 3 四半期および 2018 年 1 月 31 日に終了する年度の営業利益と完全希薄化後 1 株当たり純利益の GAAP 目標を提示することができません。それは Non-GAAP の営業利益および Non-GAAP の完全希薄化後 1 株当たり純利益に含まれない特定の項目を見積もることが難しいためです。特定項目費用の例としては株式ベースの報酬費用、内部利用目的のソフトウェアの開発費用の資産計上、資産計上費用のその後の減価償却に関連する費用などが挙げられます。これらの除外項目の影響は重大である可能性があります。

原文： <https://www.veeva.com/resources/veeva-announces-fiscal-2018-third-quarter-results/>

【Veeva Systems 社について】

Veeva Systems 社はグローバルなライフサイエンス企業向けにクラウドベースのソフトウェアを提供するリーディングカンパニーです。世界最大規模の製薬会社からバイオテクノロジー分野の新興企業まで 600 社を超える顧客を擁し、技術革新への取り組みや卓越した製品力によって、お客様の成功をサポートしています。Veeva は、サンフランシスコのベイエリアに本社を置き、ヨーロッパ、アジア、ラテンアメリカに拠点を展開しています。

詳しくは、<https://veeva.com/jp/>をご覧ください。

【Forward-looking Statements】

This release contains forward-looking statements, including the market demand for and acceptance of Veeva's products and services, the results from use of Veeva's products and services, and general business conditions, particularly in the life sciences industry. Any forward-looking statements contained in this press release are based upon Veeva's historical performance and its current plans, estimates, and expectations, and are not a representation that such plans, estimates, or expectations will be achieved. These forward-looking statements represent Veeva's expectations as of the date of this press announcement. Subsequent events may cause these expectations to change, and Veeva disclaims any obligation to update the forward-looking statements in the future. These forward-looking statements are subject to known and unknown risks and uncertainties that may cause actual results to differ materially. Additional risks and uncertainties that could affect Veeva's financial results are included under the captions, "Risk Factors" and "Management's Discussion and Analysis of Financial Condition and Results of Operations," in the company's filing on Form 10-Q for the period ended October 31, 2017. This is available on the company's website at www.veeva.com under the Investors section and on the SEC's website at www.sec.gov. Further information on potential risks that could affect actual results will be included in other filings Veeva makes with the SEC from time to time.

【本件に関するお問い合わせ先】

Veeva Japan 株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー5階

TEL : 03-6721-9800 FAX : 03-3449-7800

E-mail : japan.info@veeva.com